



3日間にわたって熱戦を繰り広げた参加選手たち

駒大苦V3 道栄は3位

全道新人戦へ貴重な実戦

西川(駒大苦)が最優秀選手

高校男子バスケットボールの第3回クローバーカップ(同実行委員会主催)は8日、苫小牧駒沢大学体育館で順位決定の各トーナメント戦を行った。地元の駒大苫小牧が大会3連覇を達成。帯広大谷が2位、北海道栄が3位に入った。また、駒大苫小牧の西川凌斗(2年)が大会最優秀選手賞を獲得。「いつも通り自分の仕事ができたと体を張ったゴール付近でのハードワークに胸を張った。



チーム間交流と強化を兼ねた戦いは、6日に開幕した。今月下旬に札幌市内で開催される全道新人大会出場を控える駒大苫小牧、北海道栄、北海道大谷をはじめ、札幌清田、滝川、北広島西、札幌東の全道8校が出場。競技3日間にわたって、2組に分かれた予選リーグと順位決定の各試合を展開した。

選リーグと順位決定の各試合を再開した。迫る全道舞台に向け、貴重な実戦経験を積んだ道栄の高橋佳大主将(2年)は、今大会でチームディフェンスの重要性を再確認。「どこよりもがむしゃらに頑張つて、ベスト4を目指したい」と意気込む。北海の谷口光稀主将(2年)は「今大会では自分たちの悪い部分が出た。全道ではミスを減らして、先輩たちの去年の結果(ベスト16)を越えたい」と前を向く。

また、今大会初出場の札幌東・古閑亮太主将(同)は、「どのチームもすごく強かったし、礼儀正しい。試合以外の部分でもとても勉強になった」と話した。大会委員長を務める札幌清田の早坂昭一(1年)は「石の上にも3年。たくさんの方の協力のおかげで軌道に乗ってきた」と話した。

7日以降の大会結果と個人賞は次の通り。

【結果】
 ▼予選A 駒大苫小牧99-42帯広大谷、帯広大谷112-63札幌清田、駒大苫小牧08-39札幌東、札幌東80-54札幌清田、同札幌東、札幌東1勝2敗④札幌清田3敗⑤予選B 北海81-42滝川、北海105-38北広島西、北海道栄96-43滝川、北海道栄100-30北広島西、同順位①北海3勝北海道栄2勝1敗③滝川1勝2敗④北広島西3敗
 ▼順位決定5位予備戦 札幌東69-41北広島西、滝川89-61札幌清田
 ▼5・6位決定戦 滝川62-54札幌東、7・8位決定戦 北広島西83-82札幌清田
 ▼決勝トーナメント準決勝 駒大苫小牧95-44北海道栄、帯広大谷68-52北海

【個人賞】
 ▼最優秀選手 西川凌斗(駒大苫小牧)
 ▼優秀選手 青山佳央(帯広大谷) ▼敢闘賞 上原優太(道栄) 谷口光稀(北海) 高杉隼太(滝川) 菅原幹

大(札幌東) 菊池蓮(北広島) 西本遥紀(清田) ▼クロバー賞 鶴巻颯、西田皓紀(以上駒大苫小牧) 菅野周、西尾椋哉(以上帯広大谷) 小松隼太、石川翔(道栄) 菊池諒、里村聡大(北海) 小笠原彰彰(滝川) 横山和音(札幌東) 松山蓮(北広島西) 永草大樹(清田) ▼得点王 橋豊仁(北海)

出場したSHOCK ICHIさん(31)とユニットを組んでいなくてもある。歌唱後は、自身が歌手を目指すきっかけとなったエピソードを披露。高校2年生のときにこの世を去った親友と交わした約束を守るため、生まれて育った北海道の地で地道に活動し、ようやくメジャーデビューをつかんだ。「みんなもこれから夢を諦めようと思いたくなることもあるかも知れないけど、自分(31)でその夢をかなえることができた」と話し、青春を謳歌(おつか)するバスケット選手たちに希望を捨てない大切さを伝えていた。

熱戦の興奮さめやらぬ苦駒もあつてとても楽しかった。もつと聴きたかった」と笑顔を見せる。2014年にリリースした「Magic Carpet Ride」が昨夏大ヒットした「My Only One feat. 安実、YUTA KA (Full Of Harmon)」の2曲を歌い上げた佐藤さん。大学時代には、ダンスボーカルグループ「E



熱唱する佐藤広大さん

ファンも大興奮 歌声披露

歌手・佐藤広大さんがライブ

熱戦の興奮さめやらぬ苦駒もあつてとても楽しかった。もつと聴きたかった」と笑顔を見せる。2014年にリリースした「Magic Carpet Ride」が昨夏大ヒットした「My Only One feat. 安実、YUTA KA (Full Of Harmon)」の2曲を歌い上げた佐藤さん。大学時代には、ダンスボーカルグループ「E